

## 東京都地方独立行政法人評価委員会

### 令和7年度第2回高齢者医療・研究分科会（持ち回り） 議事概要

#### 1. 開催日時

令和7年7月2日（水）から同月10日（木）まで

#### 2. 開催方法

持ち回り開催

#### 3. 出席委員

大内分科会長、岡田委員、高梨委員、土谷委員、松前委員

#### 4. 議題

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの令和6年度業務実績評価について

#### 5. 議事概要

##### 【評価委員】

（評価項目に関するご意見）

- ・項目4「高齢者糖尿病医療」について、糖尿病看護外来年間延べ患者数が目標を超えていることは評価できる。より高い評価とするためには、その他の項目において、年度計画にある目標を大幅に上回るなどの要素が必要。
- ・項目6「救急医療」について、急性大動脈スーパーネットワークなど、困難な患者を受け入れる体制を組んでいることは評価できる。法人が得意とする分野（高齢者の受け入れ、診療科別）で手厚く救急患者を受け入れているのであれば、そういった状況がわかるような実績数値を報告してほしい。救急患者断り率32.9パーセントは高いため、改善が必要である。
- ・項目7「地域連携の推進」について、都の施策としても重要な取組と評価していると受け止めた。法人が推進している血管病医療や認知症医療の取組と地域連携の取組は切り離せない関係であり、法人の自己評価で両項目の評価に開きがあるのは疑問であった。紹介率及び逆紹介率は素晴らしく、高く評価できる。
- ・項目8「災害・感染症等の緊急事態への対応」については、今後、災害・感染症発生の有無ということではなく、力を入れた取組内容について掘り下げて報告してほしい。BCP（事業継続計画）の改訂については、組織内での共有が重要であり、そういった部分についても報告してほしい。
- ・項目9「安全で質の高い医療の提供」について、薬剤に関連したアクシデント発生率の目標値が0.01%以下と設定されているが、今回の実績である0.02%との有意差はなく、目標値として妥当とは言えないのではないかと。
- ・項目10「患者中心の医療、患者サービスの向上」については、インフォームドコンセントの徹底など、どのような取組で患者中心の医療の提供が実現されているか、より掘り下げて報告してほしい。入院患者満足度は95%、外来患者満足度は90%を達成できるよう期待する。

- ・項目11「高齢者の特有な疾患と老年症候群を克服するための研究」で取り上げている内容は、どれも法人の特色を生かした素晴らしい研究であると評価できる。
- ・項目12「高齢者の地域での生活を支える研究」について、多剤処方の研究は重要な内容であり、法人から社会への発信の取組も期待される。また、独り好き志向の高い人の研究について、エビデンスを示している点で高く評価できる。
- ・項目13「老年学研究におけるリーダーシップの発揮」について、論文の発表数は素晴らしい。より質を評価できるような論文の指標として、特定機能病院の承認要件である論文の基準（英文・査読済・筆頭著者）での実績の把握についても検討してほしい。
- ・項目14「研究成果の社会への還元」について、産学連携コーディネーターの取組は高く評価できる。また、外部資金獲得件数307件も評価できる。しかし、評価指標は社会への発信の面が強い。研究成果の還元という意味では、企業との共同研究の実施件数などの社会実装がより重要であり、そうした面での実績数値を掘り下げて報告してほしい。
- ・項目16「認知症との共生・予防の取組」について、認知症未来社会創造センター（IRIDE）の取組は高く評価できる。農園運営の取組は貴重な研究であり、高く評価したい。また、認知症支援推進センターにおける島しょ支援の取組も評価できる。
- ・項目17「高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成」について、フレイルサポート医研修会やフレイルサポート専門栄養士研修会など、法人ならではの取組として評価できるが、都内全体のうちのどれくらいの割合か、経年変化等、数値の意味合いがわかるよう、工夫して報告してほしい。
- ・項目19「適切な法人運営を行うための体制の強化」について、実際に事故が起こっているか、起きた場合どうしたのかという点も報告して欲しい。また、適切な運営を担保するための法人の体制・仕組が機能しているか、より掘り下げて報告してほしい。
- ・項目20「収入の確保・コスト管理体制の強化」について、研究外部資金獲得や産学連携コーディネーターの配置については評価できる。一方で、経営改善に向け、病床稼働率の改善はもちろんのこと、入院単価の引上げや病院執行部によるきめ細かな指示など、工夫の余地があると思うので、引き続き取り組んでほしい。

#### （その他全体を通じて頂戴したご意見）

- ・法人の患者がセカンドオピニオンを求めた時の対応についてもぜひ検討してほしい。
- ・法人には地域医療を支える役割と専門病院としての役割が求められており、両方に力を入れて取り組まれていることは素晴らしい。
- ・検査の機器の改良によって高齢の方の苦痛を和らげる取組など、法人にとっては当たり前かもしれないが、そういう点こそ積極的にPRして報告してほしい。
- ・今後は、カスタマーハラスメント対策にもぜひ取り組み、取り組んだ内容を共有してほしい。
- ・外部からの重大な指摘事項があれば、教えてほしい。
- ・法人運営には公金が入っており、普通の病院以上のことをしなければならないという意識を持って仕事をしてほしい。
- ・経営部門は令和5年度からB評価が続いているが、どうすればA評価を付けることがで

きるのか、実績数値の示し方なども含めて報告内容を検討してほしい。

**【事務局】**

- ・第3回高齢者医療・研究分科会で、評価委員からの意見を確認していただき、評価委員会としての意見を決定する。
- ・本分科会で頂戴した意見については、第3回高齢者医療・研究分科会に向け、評価に反映させるよう調整する。